

## 〈中村梅雀×今野敏〉

### テレビドラマ『機捜235』の名優と原作者、ワールドワイドなミュージシャンたちと、クールで熱いサウンドトラックを完成。

6月25日リリースされます。ドラマは今夏期に放映。

待望のドラマの続編となる、『今野敏サスペンス 機捜235』第二作の放送が、本年夏に決まった（テレビ東京系）。中村梅雀さん演じる、ほんわかと人の好きそうな定年間近の綿長（シマさん）が、警視庁刑事部第二機動捜査隊に配属されて、やる気マンマンの若手隊員、高丸（平岡祐太さん）とバディとなる。もちろん今回も、思いがけない実力の持ち主シマさんが、痛快に事件を解決へと導いてゆくのだ。刑事ドラマでありながら、ヒューマンな味わいを出しつつ、スカッと爽快な結末が待っている。梅雀さん自身が「自分にピッタリの役が来た」というだけあって、この第二作でも、多くの人たちが“年の差バディ”のトリコになるだろう。

実は、梅雀さんは、プロのベーシストでもある。コロナ自粛期間中に、ギターにはちょっと自信のある平岡祐太さんから、リズム音源が送られてきた。メロディーを重ねていくうちに、これは『機捜235』第二作のテーマになるのでは！と、梅雀さんが、ドラマのMプロデューサーに送ると、原作者の今野敏さんにまで届いた。すると「俺のプライベートレーベルですぐ出そう！」と、即決。今野先生、警察小説の第一人者であるだけでなく、音楽レーベルのオーナーでもあるのだ。

レコーディング当日に「お芝居よりはるかに楽しい(笑)」と、頬を紅潮させた梅雀さんはウキウキ。ちょっと早くて安定感のあるベースは、梅雀さんの生き方にも通じるようで、いい響き。メインテーマの録音には、平岡祐太さんも加わって、白熱のギタープレイだ。さらにスタジオに集合したのは、川口千里さん（ドラムス）、櫻井哲夫さん（ベース）、安部潤さん（キーボード）増崎孝司（ギター）ら、世界でも活躍するトップレベルのミュージシャンたち。すごいメンバーが集まって、すごい熱量で、最高のテクニックを駆使した『機捜235』のゴキゲンなアルバムは完成した。

アルバムに収録されている全6曲中、3曲を梅雀さんが作曲。劇的なメインテーマは、ドラマのオープニングでカーチェイス映像が見えてくるよう。他にも、綺麗なアレンジの『二機捜の部屋のテーマ』、『犯人告白のテーマ』や、どこかコミカルでブルージーなトーンの『綿長のテーマ』も収録された。

また、アルバム特典としてCD形態にのみ〈中村梅雀×今野敏〉の、ココでしか読めない、プロフェッショナル対談も封入されている。

大好きな役だから、これからも、ドラマをシリーズ化してほしい。そう梅雀さんがいうと、敏先生「ダイジョーブ、原作もまだまだ連載中だから」と。「それじゃいつか僕のベースと、平岡くんのギターで『機捜235』ライブを開催しましょう。ぜひ敏先生もジャズ・ギターで参加してください」。梅雀さんの瞳が、シマさんのごとくキラリと光った。

#### 中村梅雀コメント

音楽って自由だし、自分も同時進行で参加できるので、お芝居よりウキウキします(笑)。アルバムに参加してくれたミュージシャン、ワールドワイドなとんでもない人たちなんですよ。ぜひ僕のベースとのセッションを聴いていただけたら、本当に嬉しい。僕の作った曲も、ドラマの世界から離れても、楽しんでいただけると思います。

#### 今野敏コメント

梅雀さんの作られた『機捜235』メインテーマを聴いて、私のプライベートレベル（78レベル）で、すぐに出そうと決めました。ドラマにも映像的にも合ってるし、梅雀さんのベースも決まっています。世界レベルの太鼓やキーボードも綺麗だし、平岡さんのギターもいい。普通に音楽として聴いても、良いアルバムになったと思います。